

あきらめず

粘り強く 願い届ける
気さくで身近な
相談相手

養護施設の保育士として22年。
社会に送り出した子どもたちが、
大切にされ輝く**笑顔**をたやすこ
がないように。

海外派兵を見送る一人の女性が、
自衛隊北吸栈橋からではなく、離
れた前島埠頭で**涙**を流して見送っ
ていたのを目にしました。そんな
涙を再び見ることがないように。

これが、市議員として心に刻
む**原点**です。このことが今、本当
に脅かされています。いま一度、
立ち向かわなければなければ……
この思いで引き続き頑張ります。

11.15

市議の選択

日本共産党

市会議員 6期

伊田 えつこ

トマホーク配備反対！
舞鶴を敵基地攻撃の
最前線基地にさせない

自衛隊員の命も、
市民の命も全力で守ります



5.31ピースアクションin舞鶴

いだ悦子

【生活相談担当地域】中舞鶴、北吸、浜、浮島、市場、愛宕、竜宮、泉源寺、森（白鳥街道七条までの北側）、祖母谷、駅南（北浜・片山・祭掛）、志染、朝来・大浦

●プロフィール●華頂短期大学社会福祉科卒業。養護施設舞鶴学園（22年間勤務）を経て、市会議員6期。子どもの医療費無料化の願いを届け続け、あきらめず追求。誰ひとり取り残さない市政の実現へ全力投球。



ねばり強く
願い届けて
6期24年

パワフル
母さん

全力投球！

国の政治が私たちの願いに背を向けている今日だからこそ、「一番身近な地方から声をあげ、国や京都府を動かす」。この思いを強く持ち、一つひとつの願い実現へ、あきらめずに粘り強く頑張る。これこそが「議員の役割」だと、引き続き頑張る決意です。

議会ごとに子育て・教育の願いをとりあげ実現

18歳まで医療費が無料に

共産党議員団は20年以上前から、中学校卒業まで通院も入院も医療費「無料化」を求めてきました。当初は保守系議員は「甘えるな！」「親の責任を他人まかせにするもの」と言って反対。日本共産党はあきらめず毎議会で粘り強く求めてきました。

学校給食の無償化

10年前から議会のたびに求めてきた無償化が、府内で初めて中学校(2024年2学期から)で実現。小学校(2025年3学期から)にも広がり、物価高のなか大変喜ばれています。市長も「共産党議員のみなさんには常に背中を押していただき感謝」と答弁しました。

調査と論戦で 水道料金の値上げストップ

市の計画で、2024年度から13.5%もの大幅値上げをしようとしていることを指摘。議会でも、コロナ禍明け・物価高騰に苦しむ市民の実態を示して「値上げすべきでない」と主張しました。共産党だけが取り上げるなか、「値上げしない」との答弁を引き出しました。4年間で計8億円の市民負担増を食い止めました。

その上、国の補助金利用などによる引き下げを提案。10カ月分(1世帯あたり6,400円)の無償化を実現しました。

ジェンダー平等で住んでよかった舞鶴に

誰もが性別にかかわらず個人の尊厳を大切にされ、自分らしく生きられる社会を目指し「まちづくりの基本にジェンダー平等の視点を」と求めてきました。「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」、中学校トイレへの生理用品配置などが実現しました。

日本共産党3議員で、

みなさんと市政を動かし

くらしも平和も
守ります

● 物価高騰、物不足から、暮らし生業を守ります

- ・消費税を全ての品目で一律5%に引き下げ、インボイスの廃止、最低賃金の引き上げ。中小事業者への直接支援の充実
- ・国保料の値上げストップ、均等割りの廃止をもとめます
- ・農産物の価格保障と所得補償で、持続可能な農業を。備蓄米の買い戻しで、米の下落をストップし、消費者価格を下げるため政府が補填を

● 高齢者の補聴器購入への補助金制度の創設 タクシーチケットなど外出支援制度の充実

● 公的4病院の統合問題

医師確保、診療科の充実はどうしても必要
安心できる医療体制の確立を

はっきりものを言い
しっかり働く



● 体育館のエアコン設置計画を 前倒しで、災害に強いまちづくりを進めます

● 温かい中学校給食の実現を

● 自衛隊基地の強化に反対し、 市民の命、暮らし最優先のまちづくりへ

